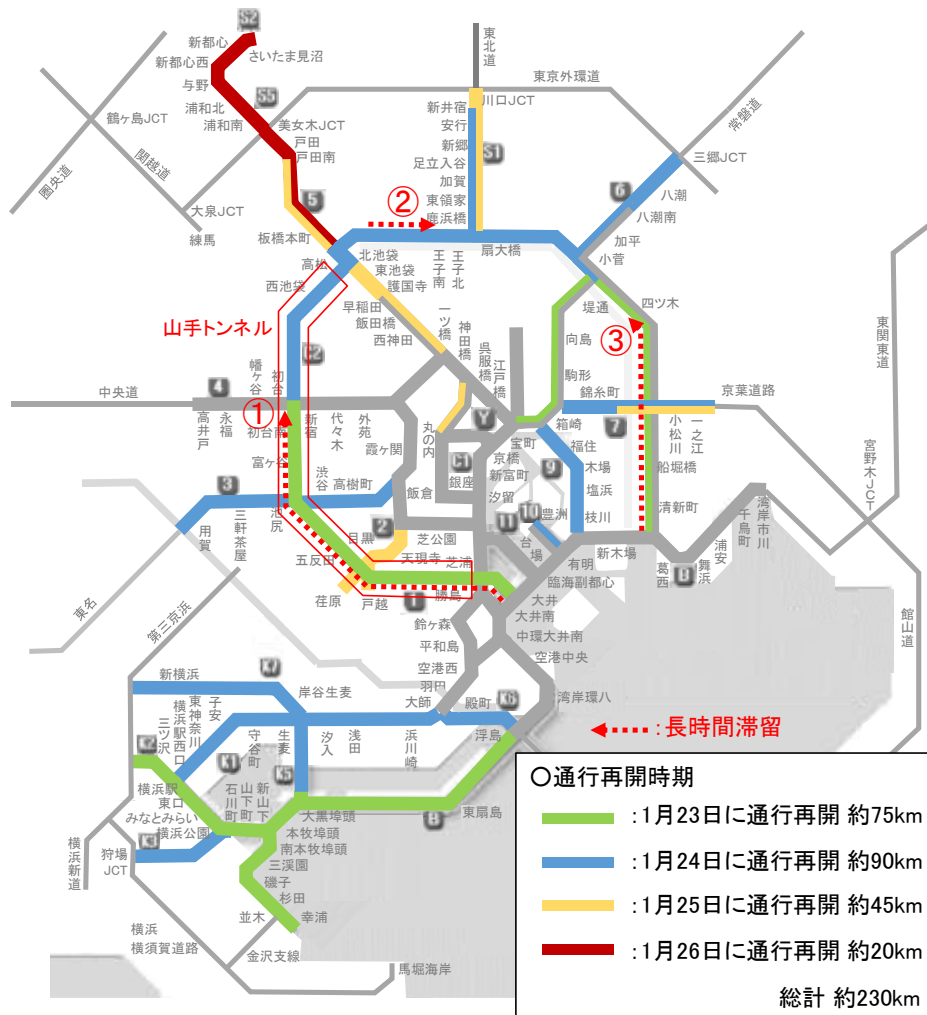


この冬の大規模滞留事例と 大雪時の道路交通確保対策の 主な取り組み

首都高速道路における大雪時の車両滞留の発生原因と状況

- 首都高速道路では、1月22日14時より通行止めを開始、総延長320kmのうち約7割(約230km)が通行止めとなり、全面通行再開までに4日間を要した。
- また、中央環状線では3箇所で大規模な車両滞留が発生。

○ 首都高速道路の通行止め区間と通行再開時期



長時間車両滞留発生箇所

- ① 中央環状線(外回り) 西新宿JCT～大井JCT
 【原因】トレーラの立ち往生
 【最大長】約12km
 【滞留時間】約10時間
- ② 中央環状線(外回り) 王子南出口付近～滝野川付近
 【原因】大型車2台の立ち往生
 【最大長】約1.6km
 【滞留時間】約11.5時間
- ③ 中央環状線(内回り) 四ツ木出口～葛西JCT
 【原因】一般道への出口渋滞
 【最大長】約10km
 【滞留時間】約11時間

国道8号における大雪時の車両滞留の発生原因と状況

- 5日夜の北陸道の通行止めに伴い並行する国道8号に交通が集中
- 朝9時頃に発生した大型車の脱輪をきっかけに渋滞が発生する中、6日未明からの激しい降雪によって車両の雪がたまり、自走出来ない車両が発生⇒大規模な車両滞留が発生
- ⇒ **最大滞留車両: 約1500台、車両滞留期間: 平成30年2月6日8時30分～2月9日1時00分(2日17時間)**



雪に関する表現と主な取り組みの対応範囲(イメージ)

		発表される警報等	降雪量(地域事例)		道路管理者等の 主な取り組み(ソフト的対応)の対応範囲(イメージ)
			普段雪の少ない地域 [雪に不慣れな地域] (東京都千代田区の例)	積雪地域 (福井県あわら市の例)	
大雪	集中的な大雪	大雪 ^{※1} 特別警報	数十年に1度の ^{※2} 降雪量となる大雪		<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">タイムライン</div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">チェーン装着車の通行制限</div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">利用抑制</div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">広域迂回等の呼びかけ</div> </div>
	警報級の大雪	大雪警報	大規模な車両滞留や長時間の通行止めを引き起こす恐れのある大雪		
	注意報級の大雪	大雪注意報	12時間で ^{※3} 10cm以上の降雪	12時間で ^{※3} 30cm以上の降雪	
			12時間で ^{※3} 5cm以上の降雪	12時間で ^{※3} 15cm以上の降雪	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">体制準備・情報共有</div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">冬用タイヤ等装備の徹底</div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">出控え等の呼びかけ</div> <div style="border: 1px dashed blue; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">予防的な通行規制</div> <div style="border: 1px dashed blue; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">予告</div> </div>
通常の降雪	気象情報	上記に満たない降雪			

※1:大雪特別警報の発表実績なし

※2:大雪特別警報の発表基準

※3:警報・注意報の発表基準の降雪量。発表基準は、地域(市町村単位)によって異なる。

普段雪の少ない地域は東京都千代田区、積雪地域は福井県あわら市(平地)の基準を例として記載。

すべての地域で実施

地域の特性に応じて実施

タイムライン(段階的な行動計画)の作成

- 道路管理者は、集中的な大雪時に備えて、他の道路管理者をはじめ、地方公共団体その他関係機関と連携して、地域特性や降雪の予測精度を考慮し、地域や道路ネットワーク(路線・区間)毎にタイムラインを策定。

集中的な大雪時を想定したタイムライン※¹のイメージ(一例を記載)

時間※ ² (目安)	気象台	整備局	国道事務所	地方公共団体	高速会社	〇〇	〇〇
2日前まで	気象情報解説	気象情報共有・体制確保					
1日前	気象情報共有(大雪)	気象情報共有・体制強化(集中除雪の配備を完了)					
		緊急発表 呼びかけ					
半日前～6時間前	大雪注意報	応援・派遣等準備	除雪開始 除雪体制の強化		
6時間前～2時間前	大雪警報	リエゾン派遣	市町村長ホットライン 情報提供	リエゾン受け入れ
0h 集中的な大雪の発生		TEC派遣	迅速な通行止	TEC受け入れ
6時間後～1日後	気象情報共有(見通し)

立ち往生が発生した場合も想定し、国は他の道路管理者をはじめ関係機関と連携し合同訓練を実施

タイムラインの整合性を確認し、適宜見直し

↑
気象予測の精度向上

※¹:各機関においても詳細なタイムラインを作成
 ※²:降雪強度に応じた詳細な行動計画を策定

チェーン等の装備の徹底

- 冬用タイヤのみを装着し、チェーン未装着の大型車等の立ち往生が発生している。
- 実効性のあるチェーン装着による通行制限を実施できる仕組み等を検討する。

【従前の「チェーン装着指導」】

- ・ 高速道路においては、冬シーズン初め頃にチェーン装着を指導(お願い)
- ・ 直轄国道では、登坂不能のおそれがある場合にチェーン装着を指導(お願い)



【今後の「チェーン装着による通行制限」】

- ・ 大雪時には降雪状況や地域特性に応じて、ドライバーに対し冬用タイヤやチェーンの装着を徹底。また、チェーンの装着等の十分な雪道走行装備を強く呼びかけ。
- ・ 冬用タイヤは装着しているがチェーンは装着していない大型車等の立ち往生等の発生が大規模な車両滞留の原因となる場合が多いことに鑑み、チェーン未装着の大型車等の通行制限をできる仕組みを検討。
- ・ さらに実効性を高めるため、チェーン未装着等、大規模な車両滞留の原因となった大型車等に対して、高速道路の大口多頻度割引の停止を行う等、ペナルティ等の対応を検討。

■ 通行制限の方法(イメージ)

【高速道の場合】

→ 制限開始

通行制限の段階	(冬用タイヤ装着呼びかけ)	冬用タイヤ・チェーン装着の徹底	チェーン装着車のみ走行可※	通行不可
降雪量(降雪状況)	少ない (通常の降雪)	(注意報級の大雪)	(警報級の大雪)	(集中的な大雪) 多い

【一般道の場合】

→ 制限開始

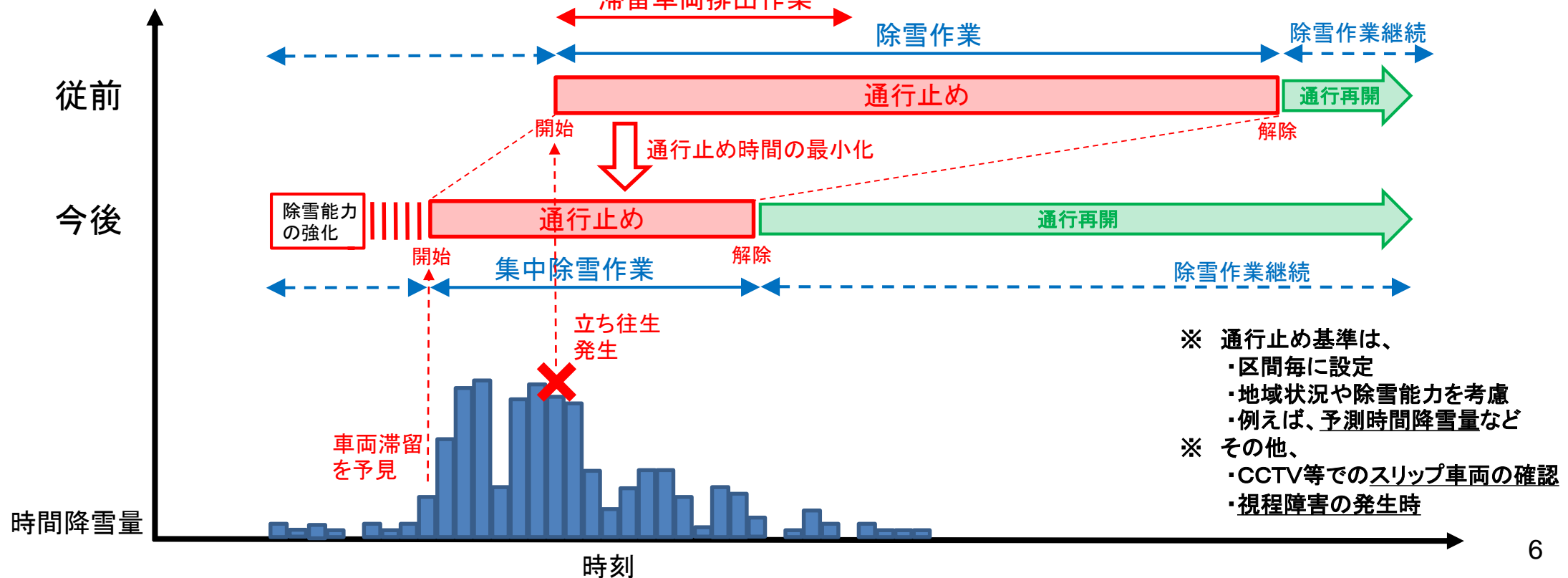
通行制限の段階	(冬用タイヤ装着呼びかけ)	冬用タイヤ・チェーン装着の徹底	チェーン装着車のみ走行可※	通行不可
降雪量(降雪状況)	少ない (通常の降雪)	(注意報級の大雪)	(警報級の大雪)	(集中的な大雪) 多い

※大規模な車両滞留の原因となる大型車等

集中的な大雪時の予防的な通行規制による集中除雪の実施

- 予め配備された除雪梯団等により集中除雪することで早期に通行を再開し、道路ネットワーク全体の通行止め時間の最小化を図る。
 - ・ 立ち往生発生リスク箇所を把握した上で区間を想定、雨量規制のような通行止め基準を明示。
 - ・ 除雪車両の集中配備や梯団除雪方式など最大限の除雪作業を行うが、最善を尽くしたとしても、集中的な大雪により車両滞留の発生が予見される場合には、降雪の激化に先立ち、関係機関と調整の上、予防的な通行規制を行い、集中的な除雪作業を実施。

■ 予防的な通行規制・集中除雪のイメージ



予防的な通行規制に伴う広域迂回等の呼びかけ

- 大雪が予想される区域へ通過車両が流入するのを防止するため、通行止めの予告は広域的に設定。
- 降雪予測などから通行規制を想定して、できるだけ早く「通行規制予告」を公表し、「広域迂回」を呼びかける。その際、通行規制の広報範囲を広域的に設定した上で、多様な広報媒体を活用し、区間、日時、迂回経路等を適切に提示、また、その後の降雪予測の変化に応じ、きめ細かく予告内容の見直しを行う。
(※大雪の概ね数日前には国土交通省緊急発表で「不要不急の外出を控える」ことを呼びかけ。)
- 通行止め予告は、特に貨物輸送等の業務交通への的確に伝わるよう、通行規制情報を運送事業者へ直接伝える方法を整備することやSNS等を活用して、時間帯にも留意しつつ適切に情報提供する。
(なお、高速道路料金は、広域迂回した場合でも割高とはならない。)

★ : 情報提供箇所

高速道路の情報板における情報提供
【情報提供例】



<参考>

直轄国道の情報板における情報提供

